

“子どもの健全育成を保障する職員配置を” “保育所の最低基準なくさないで” “介護職員全体の処遇改善を” ...

福祉施設職員の切実な声

12日、県内の福祉施設で働く職員で結成されている全国福祉保育労働組合山形地方本部(荒井聡委

福祉保育労組が県要請

児童養護施設について

要望は、被虐待児を含む要保護児童の健全な育成がなされるような施設職員配置、児童相談所の機能強化、県単独補助事業の充実などです。

参加者からは、一時保護所もいつばいで、施設で対応を委託される場合もあることや、運転免許取得などの就職準備も含めた高校生への助成充実が切実である実態が出されました。



県へ要請する福祉保育労の人たち(正面)=12日、県庁

員長)が、県に要望書を提出し懇談、日本共産党県議団も同席しました。

保育所の制度「改革」について

保育所については、特に国が検討している新制度の最低基準の廃止、直接契約方式導入に対する不安

和を検討している」と述べました。

こんにちは

渡辺ゆり子

2010年2月21日
第88号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅: 山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

介護保険・高齢者について

特に、「介護・福祉職員処遇改善交付金」について、期限付きであることや、給付対象が介護職員に限定されているため職員全体の処遇改善に

また、障がいの認定は受けていないものの、配慮が必要な子どもが増えており、対応に苦勞している実態や、県の施策を求める要望も出されました。

2月県議会開会

19日、県議会定例会が開会し、新年度予算案をはじめとする議案が提案されました。会期は3月18日までです。

2・11憲法改悪反対集会に参加

11日、「2・11憲法改悪反対山形平和集会」に参加しました。今回で38回を数える集会は、キリスト教連合や教職員組合、生協、共産党、社民党など20団体で構成する実行委員会主催によるものです。

認識の変化を指摘する研究者がいる」、「坂の上の雲」には民衆からの視点が欠けている、「歴史教育は多様な歴史観を提示し、学習者自身が自らの歴史観を形成できるように援助すること」などの内容が印象に残りました。

ゆり子の視点

12日夜に開かれた山形市内の日本共産党地域後援会の集いに参加しました。

後期高齢者医療保険料アップ

当日、後期高齢者医療の県広域連合議会が、4月からの保険料を1人年額平均1896円(4.89%)引き上げることを決めたニュースが話題となりました。制度廃止が先送りされ、保険料アップになったことに、みなさん不満と怒り顔です。

民主党政権は、制度廃止を先送りしただけでなく、保険料アップを抑えるために、切実な国民要求実現のためには、参院選が重要になっています。